

2008 実施状況報告



2008 年は
2102都市 が、
ヨーロッパモビリティウィークに参加しました！

Albania 6	Spain 366	Lithuania 16
Austria 378	Finland 10	Luxembourg 100
Belgium 35	France 180	Latvia 13
Bulgaria 48	United Kingdom 48	The Netherlands 218
Brazil 34	Greece 3	Norway 8
Canada 2	Croatia 10	Poland 84
Switzerland 7	Hungary 73	Portugal 69
Colombia 1	Ireland 10	Romania 108
Serbia 1	Iceland 4	Sweden 46
Cyprus 2	Italy 35	Slovenia 24
Czech Republic 90	Japan 7	Slovakia 2
Germany 57	South Korea 1	Taiwan 1
Equator 1	Kosovo (under UNSCR 1244) 3	Venezuela 1

■ 実施都市
■ その他関連都市

2008 年のテーマ 「Clean Air for All みんなにきれいな空気を！」



ブタペスト（ハンガリー）

European Mobility Week Award 2008 受賞！



ザグレブ（クロアチア）

European Mobility Week Award 2008
最終選考者



台湾

2003 年より本格参加
約3万人が参加

写真：台湾以外は European Mobility Week 公式 HP より抜粋

日本からも 7 都市が参加しました!

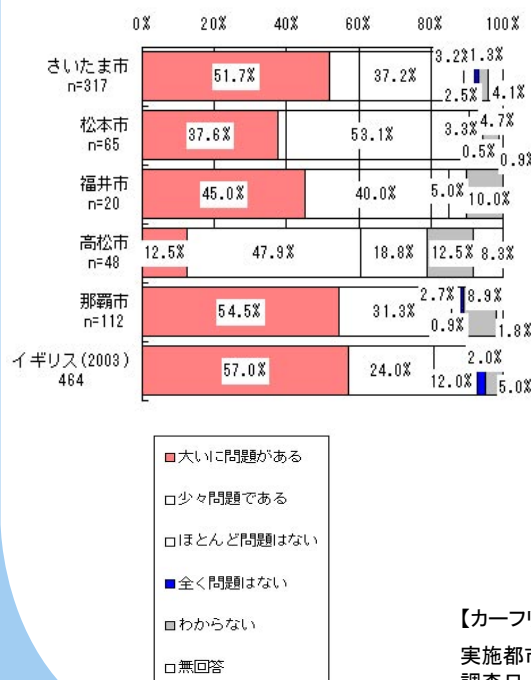
都市名	団体名
さいたま市	さいたまカーフリーデー実行委員会(市民団体主導・行政支援) (参加団体数:60 事務局:市)
横浜市	横浜カーフリーデー実行委員会(市民団体主導) (参加団体数:46 協賛団体数:26 共催:伊勢佐木商店街)
松本市	松本市ノーマイカーデー推進市民会議(市民団体主導・行政支援) (参加団体数:37 事務局:市 協賛団体数:1)
名古屋市	なごやカーフリーデー協議会実行委員会(行政主導) (協議会構成団体:11 協賛団体数:14)
福井市	NPOふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)(市民団体主導) (3つのNPO団体と共催)
高松市	カーフリーデー高松推進協議会(行政+市民団体共催) (協議会構成団体:18 事務局:市)
那覇市	なはもビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会(行政+市民団体共催) (市+NPO法人しまづりネット 協賛団体数:2 協力団体数:1)

※都市名は、日本列島北からの順

カーフリーデーアンケート

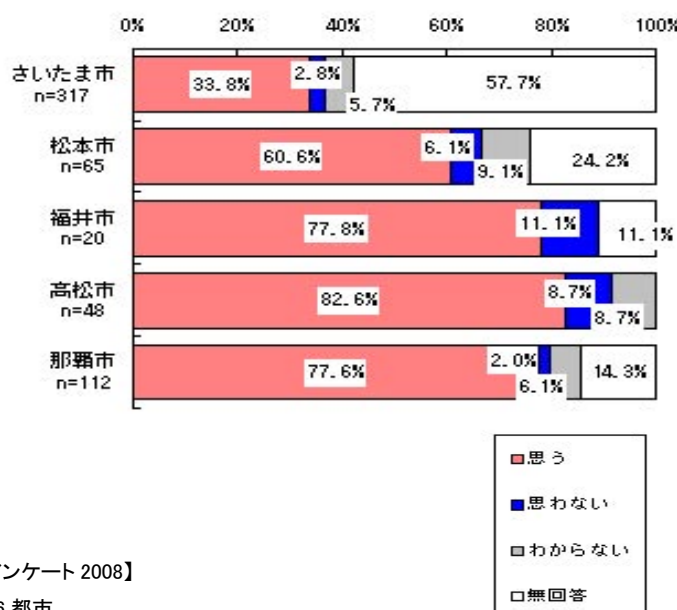
日本では、2008 年、参加都市が 7 都市に増えました。それぞれの地域での活動の広がりにより、カーフリーデーが徐々に広まりつつあります。この取組が、持続可能な都市交通政策の発展に向けた、市民の意識変革に寄与するような活動としても普及していくために、市民意向等を把握しながら進めていきたいと思ひます。

●自動車交通は中心市街地にとって問題だと思いますか?



●公共交通の利便性が向上した場合、自動車から移動手段を替えようと思ひますか?

(自動車利用者のみの回答)



【カーフリーデーアンケート 2008】

実施都市: 上記 6 都市

調査日: 各都市カーフリーデーイベント実施日

※その他アンケート結果に関しては、カーフリーデージャパンまでお問い合わせ下さい

車を置いて
街へ出よう!

さいたま市



イベント・プロジェクト賞!
カーフリーデーベストショット賞!

実施主体: さいたまカーフリーデー実行委員会
(市民団体、市が事務局)

埼玉県さいたま市。

今年で2回目の参加です。

今年度は「エコ・カーフェア」との同時開催となりました。例年と同じく JR 大宮駅周辺・鐘塚公園のほか、新たに浦和駅前も会場に加え、より規模の大きいものとなりました。カーフリー化した道路は、オープンカフェやイベント会場として市民に開放し、心地よい空間が創出されました。1/2500 の市内地図を広げ、行きたい場所までの交通手段を検証する「ガリバーマップ」など、ユニークな取り組みも多いほか、昨年に引き続き駐車場から大宮駅まで無料バスが運行されるなど、しっかりとした仕組みのもと実施されていました。天候の影響で、浦和会場の一部のプログラムが中止になってしまったのは残念です。

チラシ・写真(右以外)

提供: さいたまカーフリーデー実行委員会



上: 歩行者に開放された道路の様子

左: スマイルバイシクルツアー

右: 各参加団体によるパネル展示

横浜市



市民アピール賞!
イベント・プロジェクト賞!
カーフリーデーベストショット賞!

実施主体: よこはまカーフリーデー実行委員会
(様々な団体・企業・個人による市民団体)

神奈川県横浜市(対象: 関内地区)。

今年で5年目の実施です。

協賛団体も含めると数十の団体が協力した取組となりました。例年通り、日本大通りとイセザキモールの交通を規制し、普段とは違う道路空間を生み出しました。パレードや自転車試乗、セグウェイ体験、カーシェアリング紹介などのほか、特に今年度は「食」にもスポットを当て、地産地消などの問題に取り組むお店の発展を通じて、食の観点から環境を守ることやきれいな空気の大切さをアピールしました。夜には、「世界道路交通犠牲者の日」のPRも兼ねたキャンドルナイトを行い、クルマ社会を問い直していく機会を設けました。その他、22日には川崎市で、カーボンオフセットに関する講演会を開催しました。

モビリティウィーク期間に先立つ8月から、関連のフォーラムを開くなど、常に意欲的な活動を行っています。



かえっこバザールの様子



横浜公園内の様子



日本大通り 歩行者に開放された道路空間



チラシ・写真(一番右) 提供: よこはまカーフリーデー実行委員会

松本市

実施主体：松本市ノーマイカーデー推進市民会議
(行政支援の市民団体)

長野県松本市。

松本市も今年で5年目の実施です。

カーフリーデーに先立ち行った街頭キャンペーンには70名以上が参加し、マイカー運転手に対して意識の変化を訴えました。

車に過度に頼った生活を見直すという観点から、メイン会場では手作りによるスローライフを体験する「クラフト・ワークショップ」やリサイクル品を販売するフリーマーケットを企画していましたが、カーフリーデー当日のメイン会場でのイベントは、雨天中止となってしまいました。今年度は、例年カーフリーエリアを設定していた商店街の一部が売り上げ低下を理由に参加を見送りましたが、その結論に至るまでに深く真剣な議論を行ったことは、今後のまちづくりを考える上で貴重な経験となりました。

また、松本では「文化をはぐくむ源である『地域の資産』を再認識する」ことも重要な目的とし、歩くことや自転車の利用促進もその観点から強く押し進めています。



チラシ・写真(右から2枚)提供：松本市ノーマイカーデー推進市民会議



左：松本城公園（メイン会場）雨天中止



中2枚：カーフリーエリア化した商店街



右：縄手通り ミニ SL

名古屋市

主催：なごやカーフリーデー協議会
(行政主導)

愛知県名古屋市。

名古屋市も今年5年目の実施です。官庁街への自動車自粛依頼、カーフリーデー、レンタサイクル社会実験が、モビリティウィーク期間中に計画されていましたが、カーフリーデー当日は大雨のため、イベントが完全中止になってしまいました。実施されていれば、久屋大通北行き車道（本思町通～桜通間）が車両（自転車除く）通行止めされ、約300mのカーフリー空間が創出されただけに大変残念です。来年度に期待です。



チラシ提供：なごやカーフリーデー協議会

高松市



カーフリーデーベストショット賞!

主催：カーフリーデー高松推進協議会
(行政+市民団体による共催)

香川県高松市。

「自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会」でカーフリーデーの実施が提案され、今年が初参加です。

当日は、市中心部の美術館通り（約 300M）を通行止めとし、ノンステップバスの展示や、特設ステージでのライブイベントなどが行われました。

高松市には便利な公共レンタサイクルがありますが、カーフリーデー当日は利用料金が無料になるなど、公共交通利用を後押しする取り組みも同時に行いました。

開始直前の豪雨により、人出はほどほどでしたが、来年以降も取り組みを続けたいという共通認識のようです。



左：KID'S WORKSHOP "Typography"の様子



真中・右：美術館通り おもしろ自転車のコーナー&市民に開放された道路の様子



チラシ・写真提供：カーフリーデー高松推進協議会

福井市

主催：NPO ふくい路面電車とまちづくりの会
(市民団体主導)

福井県福井市。

2回目の参加です。10月に「全国路面電車サミット」を控えていたため、9月と10月の2回、実施しました。

9月は、カーフリーデー自体の紹介の他、おもしろ自転車の展示・試乗会、無料自転車修理サービスなどを実施しました。

10月には「ハチドリ計画 2008」を行いました。これは、10月の任意の一週間に削減したCO2の量に応じたポイントを付与し、ポイントがたまると折りたたみ自転車などが当たる抽選会に参加できるというものです。

9月から10月にかけて、環境や交通を考えるさまざまな取り組みが行われました。



福井駅東口広場 カーフリーデーパネル展

チラシ・写真提供：NPO ふくい路面電車とまちづくりの会

那覇市



まちづくり貢献賞!

主催：なはモビリティウィーク&カーフリーデー実行委員会
(行政 + 市民団体共催)

沖縄県那覇市。

今年は2回目の参加です。

那覇市では「誰もが移動しやすい街をつくる」ことを総合計画で定め、その一環としてカーフリーデーを実施しています。

日本初の恒常的（日曜日のみ）トランジットモールとも協働し、パネル展やシンポジウム、電気自動車・おもしろ自転車の展示・試乗会など、充実した取り組みがなされています。

今年は、トランジットモールと交差する通り上での自転車教室や、乗合タクシーの実証実験も行われました。

市民へも前年以上に浸透し、カーフリーデーは那覇市のまちづくりに欠かせないツールになっているようです。



国際通りトランジットモール



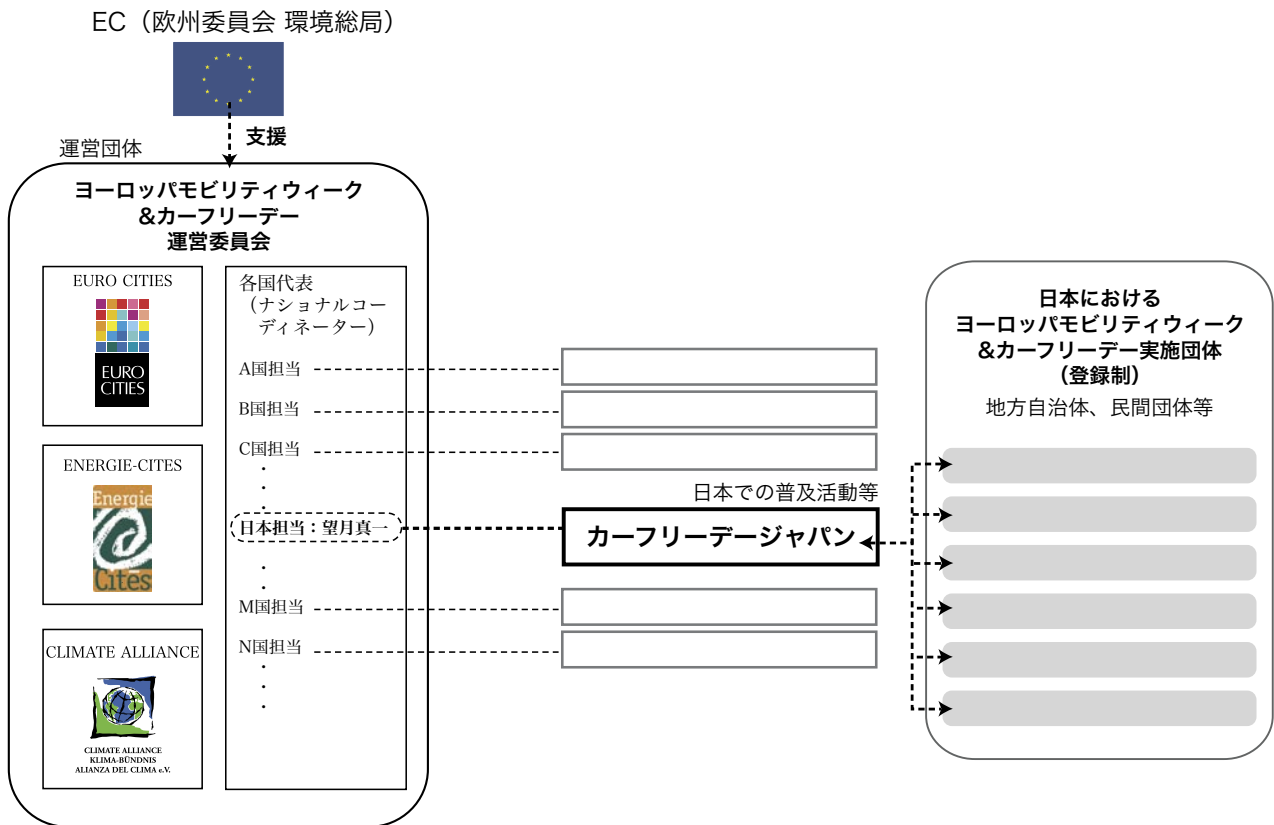
乗り合いタクシーの試行実験



てんぶす那覇前広場おもしろ自転車試乗会

チラシ・写真提供：なはカーフリーデー実行委員会

【ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの枠組み】



【ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー 実施の目的】

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーは、環境問題を都市交通の面から対処していくため、また街に人中心の賑わいを創り出していくため、「車の使い方」を見直そうというものです。

持続可能な都市交通に向けたプロジェクトであり、単なるイベントの実施でもなければ、社会実験でもありません。

車優先社会から、公共交通や自転車を中心とした歩行者中心の暮らしづくりをめざし、より多くの人に、車のあり方について考えてもらいます。その上で、各都市がめざすまちづくりに向けての、新しい施策を開始する機会となるのです。

社会啓発

- ・ 車と地球環境問題
- ・ 車と都市交通
- ・ 車と都市文化
- ・ カーフリー空間の体験

を考える

新しい施策の開始

- ・ 市民への周知
- ・ 新しいシステムの紹介
- ・ 新施策のスタート

の機会とする

お問い合わせはカーフリーデージャパンまで

カーフリーデージャパン
ヨーロッパカーフリーデー日本担当コーディネーター 望月真一
東京都千代田区六番町6-20-304 〒102-0085
tel.03-3234-1765/fax.03-3234-1748
cfdjapan@cfdjapan.org
http://www.cfdjapan.org

